授業科目　相談援助実習II

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	社会（介護コース以外の学生は必須）
圓山　里子、梶原　洋生、鈴木　未来 内保　美穂、宮原　イミ子	開講時期	前期	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	90（学内指導30・現場実習60）

【概要・一般目標：GIO】

1. 社会福祉施設での現場実践を短期間体験し、社会福祉援助の実践現場における業務の展開、職員の働き、利用者の状況について基礎的な理解を図る。
2. 次年度の相談援助実習IIIに向けた自己の達成課題を明確にする。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 社会福祉施設での業務の展開を理解する。
2. 社会福祉施設における職員の働きを理解する。
3. 社会福祉施設における利用者の状況を理解する。
4. 社会福祉士として求められる資質、技能、倫理について現場実践から理解する。
5. 4と照らして自己の習得状況を理解し、達成課題を明確にする。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション		講義・グループ指導
2	身体障害者福祉施設の機能・対象者・支援上の留意点		講義
3	知的障害者福祉施設の機能・対象者・支援上の留意点		講義
4	児童福祉施設の機能・対象者・支援上の留意点		講義
5	高齢者福祉施設の機能・対象者・支援上の留意点		講義
6	相談援助実習の位置づけ，意義		講義
7	実習グループの形成、実習施設の理解		グループ指導
8	実習プログラムの作成		グループ指導
9	実習プログラムの確認		グループ指導
10	相談援助実習における接遇マナーの基本		講義
11	「倫理綱領」、守秘義務など		講義
12	実習前の最終確認		講義、グループ指導
13	実習前のふりかえり		グループ指導
14	実習報告会１（全体）		講義
15	実習報告会２（全体）		講義
16	（上記の日程は講師の都合等により変更することがある）		
17			
18	７月～11月　各配属先で「相談援助実習II」を実施		各施設で実習
19	シラバス上、開講は前期科目であるが、実習及び実習後のふりかえり・報告会は、前期期間以降の設定となる。		
20	オリエンテーションや掲示等に、十分、注意すること。		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）				
参考書	社会福祉実習サブノート　～初めて実習生となるあなたへ～	社会福祉実習教育研究会編集	中央法規	2000・2,000円
その他の資料	「現場実習の手引き」ほか、適宜プリントを配布			

【評価方法】

授業（学内での事前学習）への出席状況、提出物の提出状況、実習レポートの記載内容から総合的に評価する。

【履修上の留意点】

・事前学習（全体・グループ）は実習に向けての重要な説明が含まれているため、必ず出席すること。

・実習は施設職員と利用者の方々の理解と協力によって行われるものであることに十分留意し、誠実な態度で臨むこと。各種提出物や報告は期限を守り、確実に行うこと。